



島 施 設 号
平成19年 4月27日

国土交通省道路局長 様

島牧村長 藤 田 章



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました、中期的な計画の作成にあたっての意見につきまして、別紙のとおり提出いたします。

(施設課土木係)

道路事業に関する意見

北海道島牧郡島牧村

島牧村は、北海道南西部に位置し、背面に寿都町並びに黒松内町との町村界である月越山脈、長万部町並びに今金町との町村界である大平山系及び瀬棚町との町村界に位置する狩場山系に囲まれ、前面は日本海に面しており、その山脚が海岸に迫り、断崖が多くあります。

地勢は海岸線に沿って50 kmにも及び、市街地が海岸線に沿って細長く形成され、交通ルートは国道229号が動脈となっております。

昭和51年に国道229号茂津多道路が開通し檜山支庁管内瀬棚町と結ばれ袋地が解消されました。しかし、もろい岩石からなる急崖が連続する海岸に沿っていることからトンネルが多く、平成5年7月発生の北海道南西沖地震においては、白糸トンネルの崩壊を始めとして路面の陥没、隆起、落石等が発生し国道は寸断され、国道の全面開通に5カ月間を要した。また、平成9年8月に第二白糸トンネル崩落事故が発生し約1年半にわたって通行止めになるなど、崩落・崩壊・落石等の事故の不安があります。

本村は、地形的な条件により他町村へ通じる道道及び町村道が存在しない為、国道229号線は本村の最重要路線であります。地域住民が安心・安全な生活を営むために、次の事項についてご意見を申し上げます。

◎医療サービス享受のための効果的なネットワーク化

北海道の高齢化率は21.4歳（05国調）で、沖縄を除く他の地方圏に比較すると、やや低い水準にあるものの、平成20年頃には一転して全国でも特に高齢化の進んだ地方になると予想されている。これに対し本村の高齢化率は既に29.8歳に達しており、今後更に増嵩することを想定すると高齢化に対応する医療体制の充実が緊要の課題であるが、昨今の社会的事情から地方での独自解決は極めて困難な環境にある。このため地方圏に居住する住民は都市部に集中する医療機関を利用せざるを得ないが、道路事情は充分とは言えない状況にあり危険箇所を早期整備とともに積雪期の国道除雪体制の強化が必要である。

- 防災対策工事の早期完了
- 越波対策工事の早期完了
- 除雪体制の強化

◎圏域中心都市間のネットワーク化

北海道の有り余る生産能力を十二分に発揮するためには“もの”と“ひと”を生産拠点から大消費地“札幌圏”並びに移出入拠点である太平洋側に円滑かつ大量に移動させる必要がある。そのためには北海道縦断自動車道と横断自動車道等を早期に完成させるとともに、接続する国道に関しても危険区間の解消による平均走行速度の向上などを促進し高速流通ネットワークを構築すべきである。

- 居住エリアと国道との分離（バイパス化の促進）

◎地域と一体となった防災・減災への取り組み

告知有線放送並びにICTを実現するための高速ブロードバンドの導入及び地上波デジタル放送の配信のため、FTTHの敷設は不可欠である。本村では情報ボックス（収容空間部）の提供を受け、自営FTTHを敷設し全村を網羅する地域情報基盤整備事業を実施する。

- 河川、道路管理用FTTH及び収容空間NWの貸付

◎交通安全対策への取り組み

北海道内では、過去11年間で全国交通事故死亡者ワースト1を記録しており、その要因として速度超過によるものがありますが、交通弱者の事故死も見受けられます。これから益々深刻化する高齢化社会に向かって安心・安全の道路整備が急務である。

- 急カーブ箇所の線形改良
- 歩道の新設
- 道路照明の新設